

インタビューからみえてくる未来像(まとめ)

- 少子高齢化の波は止められない。これからは地域や国内に限られたパイを奪い合うのではなく、世界や新しい分野に目を向けることが必要。
- ICT利活用で世界と戦えるようになった。地方（ローカル）が世界（グローバル）で戦う時代がすでに来ている。
- 世界で戦う時代の「地方の特産品」とは『人材』という考え方もあるのではないか。答えのないことに自分で挑戦し答えを見つけるような人材をいかにして育成していくか。
- 人工知能、ロボット、自動運転、ドローンなど、新しい技術を少子高齢化する社会の中でどのように困っていることを解決するために使うのか。世界が少子高齢化の先進地である日本をみている。
- 新しい技術は学歴や身体など「障害」となっているものを取り除いていく。情報もオープンになりいろんな制度や仕組みが変わる。
- ICT利活用で時間や場所などの制約から解放され、「リスク」が「チャンス」に変わる。住民が便利になったという社会を目指す。